

# いきものふれあいの森 通信

2025.10.12 第11号



10月に入ってようやく涼しさを感じるようになり、アルプス公園でも黄色く色づき始めた木々が見られるようになりました。今年の夏は長かったですね…。

今年の春に〈森の里広場〉の畑で実験的に植えたコスモスやヒマワリ、フジバカマ等の花も見事に咲き、夏には多くの昆虫が花の蜜を求めて集まってきました。その中でも、うれしいことに目的にしていた蝶々も来てくれています。



ヒマワリ、メキシコヒマワリ



フジバカマ

多くの種類が見られましたが、写真で撮れたスジボソヤマキチョウやメスグロヒョウモン、アサギマダラを紹介します。



スジボソヤマキチョウ



メスグロヒョウモン・メス



メスグロヒョウモン・オス

アサギマダラは〈森の里広場〉のフジバカマで見かけたのですが、残念ながら〈山と自然博物館〉正面のブッドレアの周りで飛び交っていました。



アサギマダラ

アサギマダラは日本全土から南西諸島・台湾へ渡る長距離ランナーで知られていますが、高山でも生息していて八ヶ岳・東天狗岳の頂上（標高2,646m）でヒラヒラと飛んでいる姿を見ました。

10月3日（金）に〈森の里広場〉を利用いただいた「松本シュタイナー認定こども園ひなたぼっこ」様の秋の遠足の様子をご紹介します。

年少さんから年長さんの20名の子供たちと先生方、午後からお父さんやお母さんたちも参加です。

子どもたちは、古民家探検で囲炉裏や天井から吊るした自在鉤や鍋、灰の説明を聞き、ガラス戸の昔のねじ式鍵を「何？」と珍しそうに見ていました。



山の斜面ではツル草を拾って引っ張りあいが始まり、それを集めてリースも作っていました。



周辺を歩きながら沢ガニやトンボ、カナヘビを捕まえたり、セミの抜け殻やドングリ、クルミ等を拾ったり色んな発見がありました。



カキの実のなり方を見たり、落ちているクリの実を探したりもしました。



ヒマワリやコスモスも手に触れて観察です。



そして、観察した虫や実などは山の中に戻し、秋の一日の遠足を楽しんでもらいました。

〈花の丘〉ボランティアの紹介です。

毎月第2、4水曜日の午前中に〈花の丘〉周辺の植栽や草刈り、掃除をしています。現在は4名での活動ですが、草花に興味のある方は是非とも参加してみませんか。年内は10/22、11/12・26の予定です。



〈花の丘〉では季節毎に色々な草花に出会います。今は、葉が紅葉した(秋の七草)オミナエシとコスモスが見られます。



ボランティアに関しては(株)TOYBOX アルプス公園サービスセンターにご照会ください。お待ちしております！

以上